

2/18~
3/15

梅まつり

春らんまん
可憐な梅花に誘われて

坂田城跡にひろがる一面の梅畑。今年も1,500本の梅が一斉に開花し、梅林を白一色に染めました。梅の花は、昨年より2週間ほど早く開花し、梅まつりが始まった2月28日には8分咲きになりました。

まつり期間中は、あいにくの不安定な天気が続きましたが、梅林組合をはじめ商工会、農業振興会などが出店。それぞれが「地産地消」に貢献し、梅の花をかたどった「太巻き寿し」、梅の花や春の素材を使った「しおり作り体験」、梅の木の下で優雅な雰囲気を楽しむ「野点」が行われ、訪れた観梅客は梅林の魅力を感じていました。



3/14 若潮牛料理教室

～地産地消食育推進事業～

町民会館調理室で町・千葉県・千葉県畜産協会・そうさ若潮牛振興協議会・ちばみどり農業協同組合が共同で町内小学生を対象とした親子14組、32名による料理教室が3月14日に行われました。

料理教室では、地場産品の「若潮牛」と「ねぎ」を充分に使用したハンバーグやサラダなどに挑戦。参加した親子は、先生の指導どおりに手際よく料理をしました。

また、ちば畜産レディースネットワークの会員が料理した「若潮牛のキムチ鍋」と「サーロインステーキ」の試食とあわせ昼食をとりました。その後、若潮牛の生産者と意見交換も行われ、「牛」の体重を聞いてビックリする親子などもおり、楽しい雰囲気の料理教室が行われました。



▲大きくなって帰ってきてね

3/10

きつと帰ってきてね

～サケの稚魚放流式～

あたたかな春の日となった3月10日、光クリーパーク親水公園を会場にサケの稚魚放流式が行われました。

1月上旬にサケの卵を近隣小中高등학교に配布し、2ヶ月間サケの里親になり稚魚を育てました。里親となった小中高등학교のうち、11校236名の児童生徒が参加。5cmほどに成長したサケの稚魚約17万匹を栗山川へ放流しました。放流する際、「きつと帰ってきてね」と声をかけ、海へ向かって元気に泳いでいく稚魚たちを見送りました。